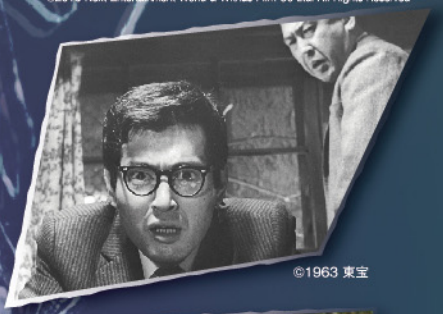
# 第7回死刑映画週間 2018年2月17日(土)～2月23日(金)

# 死刑という刑罰

国家の中にあって、独自の自治空間をもつ先住民族の村が、外から丸見えの、開放的な牢屋を持つことがある。人間の社会から、「犯罪」をなくすことは難しいのだろう。したがって「刑罰」の仕方もさまざまに模索され続けてきた。過ちが避けがたく起こる人間の社会にあって、犯罪をできるだけ少なくすること、過ちを犯した人の再生／新生を手助けするような形の「刑罰」を考えること――人びとは、徐々にではあれ、この道を歩んで、現在に至っている。この先に開けている人間社会の未来からの視線で、現在ある司法の在り方を顧みる。この映画週間が、そのために役立つことを願って。

©2013 Next Entertainment World & Withus Film Co Ltd. All Rights Reserved



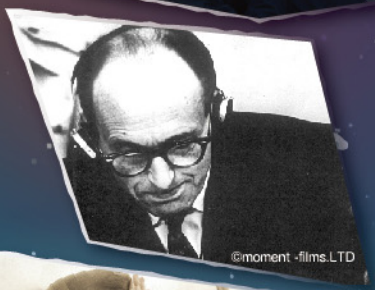
©1963 東宝

©映画「新・あつい壁」製作上映実行委員会・中山映画株式会社

©X FILME CREATIVE POOL GMBH/MATER MOVIES/ALONE IN BERLIN LTD/PATH PRODUCTION/BUFFALO FILMS 2016

©Kimoon Film

©2015 Stanford Prison, LLC. All Rights Reserved.



©moment -films.LTD

©「HER MOTHER」制作委員会

**映画＋監督＋制作年＋語る人（一回限り、裏面参照）**

**『スペシャリスト』**
（エイアル・シヴァン 1999）× 鵜飼哲

**『獄友』**
（金聖雄 2018）× 金聖雄

**『弁護人』**
（ヤン・ウソク 2013）× 黄英治

**『新・あつい壁』**
（中山節夫 2007）

**『プリズン・エクスペリメント』**
（カイル・アルバレス 2015）× 坂上香

**『HER MOTHER』**
（佐藤慶紀 2016）× 佐藤慶紀・森達也

**『ヒトラーへの285枚の葉書』**
（ヴァンサン・ペレーズ 2016）× 木下昌明

**『白と黒』**
（堀川弘通 1963）× 太田昌国

渋谷 ユーロスペース 東京都渋谷区円山町 1-5 KINOHAUS 3F

# 第７回死刑映画週間　「死刑という刑罰」 上映作品

## A『スペシャリスト～自覚なき殺戮者～』

2月17日(土) 11：00
2月19日(月) 16：00
2月21日(水) 13：30
2月22日(木) 19：00

©moment-films.LTD

監督＝エイアル・シヴァン

1999年　イスラエル 仏 独 オーストリア ベルギー　123分　DCP
製作＝エイアル・シヴァン アーメル・ラボリー　編集＝オドレイ・モリオン

【物語】アウシュヴィッツ最終収容所長だったアイヒマンはホロコーストに関与した責任者だった。人道に対する罪や戦争犯罪の責任などを問われ死刑判決が下された“アイヒマン裁判”。当時の映像を発掘し、ハンナ・アーレントの『イスラエルのアイヒマン』を下敷きに編集した作品だ。官吏としての能力と小役人的な本質がいかにしての大規模な殺戮を生んだのか。“悪の凡庸さ”が底知れぬ怖さとともに浮かび上がる。

## B『獄友』

2月17日(土) 13：30

©Kimoon Film

監督＝金聖雄

2018年　日本　100分　ブルーレイ
プロデューサー＝陣内直行　撮影＝池田俊巳　音楽＝谷川賢作　録音＝吉田茂一

【物語】殺人事件を起こしたとされ、刑務所や拘置所に長期にわたって拘束された無実の人たちがいる。「布川事件」の桜井昌司さん、杉山卓男さん。「足利事件」の菅家利和さん。「狭山事件」の石川一雄さん。「袴田事件」の袴田巌さん。自分たちのことを「獄友」と呼びあう彼ら。なぜ彼らは「自白」したのか、獄中では何があったのか、社会に出てからの彼らの生きる姿と友情を追ったドキュメンタリー。

## C『弁護人』

2月17日(土) 16：30
2月19日(月) 19：00
2月21日(水) 11：00
2月23日(金) 13：30

©2013 Next Entertainment World & Withus Film Co Ltd. All Rights Reserved

監督＝ヤン・ウソク

2013年　韓国　127分　DCP
脚本＝ヤン・ウソク　ユン・ヒョノ　出演＝ソン・ガンホ　イム・シワン　キム・ヨンエ　クァク・ドウォン　オ・ダルス

【物語】元韓国大統領ノ・ムヒョンの1980年代の弁護士時代をモデルとした作品。軍事政権下の韓国で税務弁護士として多忙な毎日を送っていたソン・ウソク。ある日若い頃に世話になったクッパ店の息子ジヌが国家保安法違反容疑で逮捕されたことを知る。拘置所へ面会に行き、ジヌの信じられない姿に衝撃を受け弁護を引き受けることに…。この事件の弁護をとおして人権に目覚め成長して行く男の姿と、あの暗い時代がリアルに描かれた大傑作。

## D『新・あつい壁』

2月17日(土) 19：00
2月20日(火) 11：00
2月22日(木) 16：00

©映画「新・あつい壁」製作上映実行委員会・中山映画株式会社

監督＝中山節夫

2007年　日本　111分　BD
脚本＝横田与志　撮影＝古山正　音楽＝小室等　出演＝趙珉和　安藤一夫　ケーシー高峰　夏八木勲　左時枝　高橋長英　常田富士男

【物語】無実なのに死刑が執行されたケースがいくつもある。その一つが菊池事件だ。ハンセン病差別の中で事件が醸成され、「療養所」内の非公開の特別法廷で裁判が行われ、無実を主張しながらも死刑が執行されたのは1962年9月4日、福岡拘置所だった。この映画は、ルポライターの青年がホームレスの男から50年前に熊本で起こった殺人事件の話を聞き興味を持ち調査を始めるところから始まる。当時の差別構造や菊池事件が正確に描かれた作品だ。

## E『プリズン・エクスペリメント』

2月18日(日) 11：00
2月19日(月) 13：30
2月21日(水) 19：00
2月23日(金) 16：00

©2015 Stanford Prison, LLC. All Rights Reserved.

監督＝カイル・パトリック・アルバレス

2015年　米　122分　BD
原作＝フィリップ・ジンバルドー　脚本＝ティム・タルボット　出演＝エズラ・ミラー　マイルズ・ハイラー　ビリー・クラダップ

【物語】アメリカのスタンフォード大学で実際に行われた心理実験をもとにした劇映画。1970年に心理学部ジルバルドー教授は、夏休みの校舎を刑務所として利用し、被験者として集まった男子学生を看守と囚人に分けた実験をする。それぞれの役割がどのように人に影響するのかを調べるためだ。実験は想像以上にエスカレートし、ついには暴力の影が覆いかぶさってくる。教授は実験の継続を認めていくのだが…。

## F『HER MOTHER 娘を殺した死刑囚との対話』

2月18日(日) 13：30
2月20日(火) 13：30
2月21日(水) 16：00
2月23日(金) 11：00

©「HER MOTHER」制作委員会

監督＝佐藤慶紀

2016年　日本　95分　DCP
撮影＝喜多村朋充　音楽＝ベンジャミン・ベドゥサック　出演＝西山諒　西山由希宏　荒川泰次郎　岩井七瀬　野沢聡　箱木宏美　木引優子

【物語】娘も結婚し仕事に専念し始めた晴美。しかしある日その娘を、夫の孝司が殺害してしまう事件が起こる。裁判の結果、孝司に死刑判決が出る。当初死刑は当然であると晴美は考えていた。しかしある時から孝司の死刑を止めようと考え始める。娘を殺害した加害者の死刑を止めようとする被害者の母の苦悩する姿が描かれる。

## G『ヒトラーへの 285 枚の葉書』

2月18日(日) 16：30
2月19日(月) 11：00
2月20日(火) 19：00
2月22日(木) 13：30

©X FILME CREATIVE POOL GMBH/MATER MOVIES/ALONE IN BERLIN LTD/PATH PRODUCTION/BUFFALO FILMS 2016

監督・脚本＝ヴァンサン・ペレーズ

2016年　独 仏 英　103分　DCP
出演＝エマ・トンプソン　ブレンダン・グリーソン　ダニエル・ブリュール　ミカエル・パーシュブランド　モニーク・ショーメット

【物語】1940年のベルリンは戦勝ムードであった。そんな中でオットーとアンナ夫婦の息子が戦死したという封書が届く。愛する一人息子の死は二人を絶望のどん底に落とす。思い余って夫オットーは、ヒトラーにあてた葉書を書く。「総統は私の息子を殺した。総統の息子も殺されるだろう」と書いた葉書を街中にそっと置く。そんな行動を繰りかえす中、ナチスゲシュタポが動き始める。

## H『白と黒』

2月18日(日) 19：00
2月20日(火) 16：00
2月22日(木) 11：00
2月23日(金) 19：00

©1963 東宝

監督＝堀川弘通

1963年　日本　113分　35㎜
脚本＝橋本忍　撮影＝村井博　音楽＝武満徹　出演＝小林桂樹　仲代達矢　井川比佐志　千田是也　三島雅夫　東野英治郎　音羽信子　大空真弓　淡島千景

【物語】死刑廃止論者の宗方弁護士の妻が殺される。犯人として前科者の脇田が逮捕されるが、死刑廃止論者の宗方はあえて脇田の弁護を引き受ける。宗方の助手の弁護士浜野は全面的に協力し、脇田の弁護をサポートする。一方落合検事は、浜野が殺された宗方の妻と深く関係していたことを知ることに。そして、事件は思わぬ展開となっていくのである。

### ◆各回入れ替え制

＊一部の作品の画・音に不備がある場合もありますので、ご了承ください。
＊やむを得ない事情により作品及び上映時間が変更される場合がございます。

| 17日(土) | 18日(日) | 19日(月) | 20日(火) | 21日(水) | 22日(木) | 23日(金) |
|---|---|---|---|---|---|---|
| A 11:00 | E 11:00 | G 11:00 | D 11:00 | C 11:00 | H 11:00 | F 11:00 |
| B 13:30 | F 13:30 | E 13:30 | F 13:30 | A 13:30 | G 13:30 | C 13:30 |
| トーク 15:30 | トーク 15:15 | A 16:00 | H 16:00 | F 16:00 | D 16:00 | E 16:00 |
| 金聖雄 | 佐藤慶紀+森達也 | C 19:00 | G 19:00 | E 19:00 | A 19:00 | H 19:00 |
| C 16:30 | G 16:30 | トーク　21:00 頃から | | | | |
| D 19:00 | H 19:00 | 黄英治 | 木下昌明 | 坂上香 | 鵜飼哲 | 太田昌国 |

ゲスト紹介：金聖雄＝映画監督／佐藤慶紀＝映画監督／森達也＝映画監督／黄英治＝作家／木下昌明＝映画評論家／坂上香＝映像ジャーナリスト／鵜飼哲＝大学教員／太田昌国＝評論家

協力：アミューズメントメディア総合学院AMGエンタテイメント事業本部映像企画制作部／アルバトロス／彩プロ／九州シネマ・アルチ／コピアポア／東宝／m20／Kimoon Film／ 映画「新・あつい壁」製作上映実行委員会・中山映画株式会社／「HER MOTHER」制作委員会

### 入場料金

一般1,500円／大学・専門学校生1,300円／シニア1,100円
会員1,100円／高校生800円
前売券　5回券4,500円／3回券2,800円／1回券1,000円

ユーロスペース劇場HPでは3日前から各回開始1時間前まで座席指定券が購入できます（各種クレジットカードのみ、詳しくはユーロスペース劇場HPを確認ください）。前売券は3日前より劇場窓口にて座席指定券とお引き換えできます。オンラインでのご利用はできません。

ユーロスペース
渋谷区円山町 1-5（渋谷・文化村前交差点左折）TEL. 03-3461-0211
http://www.eurospace.co.jp/